

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.75

令和2年4月15日号

今月の渥美半島の花
「カーネーション」



令和2年第1回定例会 (3/2~3/23)

- 定例会で決まったこと..... 2
- 税金の使い方が決まりました..... 4
- 一般質問 (代表質問・個人質問) 10

その他

- 議会の活動..... 18
- 議員とたはらトーク..... 19



気軽に和太鼓を楽しもう!!

「龍宮」の皆さんです。(インタビュー20ページ)

状況の中 育む予算を可決

令和2年 第1回

定例会 (3月2日～3月23日)

こんなことが決まりました。

市長提出議案	32件
議員提出議案	1件

令和2年第1回定例会を、3月2日から3月23日まで開催しました。

令和2年度一般会計予算など市長提出議案32件・議員提出議案1件を、いずれも原案のとおり同意・可決しました。

▷関連4～9ページ



本会議の最終日に花き振興のため
壇上と胸に花を飾り臨む

▽関連
4・5ページ

令和2年度予算規模	
総額	445億円
一般会計	292億円
特別会計	91億円
企業会計 (水道・下水道)	61億円
(億円未満切り捨て)	

3月10日から12日、16日の4日間、予算決算委員会において令和2年度予算の内容を審査し、3月23日の本会議最終日にすべての予算を可決しました。

税金の使い方が決まりました

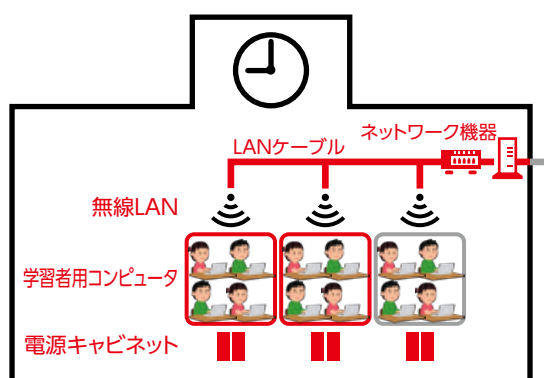
議案第25号令和2年度一般会計予算ほか5件

厳しい財政 新たな時代へと魅力を

議案第18号令和元年度一般会計補正予算（第4号）

**GIGAスクール構想の実現
のための費用を含む補正予算
を可決しました**

国が進める「GIGAスクール構想の実現」のため、国の補正予算の採択により行う小・中学校の校内通信環境整備費用などが盛り込まれました。



議案第11号子ども医療費支給条例の一部改正

**18歳までの子どもの入院に係る
医療費を助成**

子どもの福祉の充実と保護者の経済的負担を軽減するため、支給の範囲を拡大して、18歳までの子ども（高校生等）の入院に係る医療費の助成が受けられます。

令和2年4月1日から施行されます。



令和2年度予算審査

税金の使い方が決まりました

市長から、令和2年度の予算案が提出され、議長以外の全議員で構成する予算決算委員会において、内容を審査しました。

審査の結果、全ての予算案を可決し、令和2年度の税金の使い方が決まりました。

■特別会計の内訳

国民健康保険特別会計	82億861万7千円
田原福祉専門学校特別会計	1億200万8千円
後期高齢者医療特別会計	8億8,931万6千円

■企業会計の内訳

水道事業（収益的支出）	12億5,146万8千円
（資本的支出）	6億5,698万円
下水道事業（収益的支出）	27億8,501万円
（資本的支出）	14億4,577万円

総 額	445億4,916万9千円 (前年度比 +18億6,994万7千円)
■一般会計予算	292億1,000万円 (前年度比 -5億1,000万円)
■特別会計予算	91億9,994万1千円 (前年度比 -18億4,921万1千円)
■企業会計予算	61億3,922万8千円 (前年度比 +42億2,915万8千円)

※令和2年度に公共下水道事業と農業集落排水事業は、公営企業化により特別会計から企業会計へ移行となりました。

「新たな時代へと魅力を育む」予算

田原市では、令和2年度は新斎場整備や伊良湖岬小学校の新校舎整備などの大規模事業の継続実施等により、総額としては前年度と比較し、大きく変わるものではありませんが、合併後活用してきた地方交付税の合併算定替えが縮減し続けることに加え、昨年度から実施された法人市民税の税率改正による大幅な減収により、極めて厳しい財政状況が予測されています。

令和2年度予算編成では、予算規模の縮小は避けられない状況であるため、「予算規模縮小に応じた行政サービスの見直し」を行いながらも、「総合計画第14期実施計画」に掲げる施策を着実に推進させるための「新たな時代へと魅力を育む」予算案が、市長から提出されました。

令和2年度の重点施策

- ・住んでみたい
- 訪ねてみたいまちづくり
- ・住み続けたいまちづくり
- ・未来につながるまちづくり

▽予算決算委員会での審査は

8・9ページ



令和2年度 主な事業

令和2年度の新規事業
を中心にご紹介します。

(万円未満切り捨て)



耕作放棄地再生利用補助 500万円

老朽ハウスの撤去等による
耕作放棄地の再生に要する費用の補助



市内事業者等の 総合的な支援窓口の設置 1,990万円

田原市中小企業総合支援センター
(仮称) 設置



恋人の聖地観光連携PR 1,400万円

恋人の聖地観光連携
PRイベント等の開催



新生児聴覚検査の費用助成 82万円

全新生児に実施する
聴覚検査費用の助成



童浦こども園の開園 2億2,328万円

北部保育園及び山北保育園を
統合・民営化



学校プールのあり方の 検討開始 1,337万円

今後のプールのあり方や運営方法を検討



津波避難タワーの整備 2億9,131万円

小中山地区に津波避難施設
(一時避難場所) の整備



高齢者安全運転支援装置の 設置補助 576万円

後付けのペダル踏み間違い急発進等
抑制装置設置への支援

令和2年第1回定例会議案一覧

議案
市長提出議案

14	指定管理者の指定 公共駐車場（田原駅南公共駐車場・田原駅公共駐車場・株式会社あつまるタウン田原）
17	公共下水道田原浄化センター改築の工事委託に関する協定の一部変更
13	市営住宅の設置及び管理に関する条例及び特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
12	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
11	子ども医療費支給条例の一部改正
10	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
9	基金条例の一部改正
8	使用料及び手数料条例の一部改正
7	国民健康保険条例の一部改正
6	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
5	議会の議員その他非常勤の職員の仕事災害補償等に関する条例の一部改正
4	田原福祉専門学校設置及び管理に関する条例及び特別会計設置に関する条例の廃止
3	公平委員会委員の選任（河邊禎人 氏）
2	監査委員の選任（八木学 氏）
1	副市長の選任（鈴木正直 氏）

15 公園及び緑地（臨海緑地・童浦校区コミュニティ協議会）

16 谷ノ口公園（谷ノ口区）

令和元年度補正予算

18 一般会計（第4号）

19 国民健康保険特別会計（第2号）

20 公共下水道事業特別会計（第2号）

21 農業集落排水事業特別会計（第3号）

22 田原福祉専門学校特別会計（第2号）

23 後期高齢者医療特別会計（第2号）

24 水道事業会計（第1号）

令和2年度予算

25 一般会計

26 国民健康保険特別会計

27 田原福祉専門学校特別会計

28 後期高齢者医療特別会計

29 水道事業会計

30 下水道事業会計

追加議案

議案
市長提出議案

31 令和元年度一般会計補正予算（第5号）

32 教育委員会教育長の任命（鈴木欽也 氏）

議案
議員提出議案

議発1 議会委員会条例の一部改正

今定例会では、賛否の分かれた議案はありませんでした。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.6

会計年度任用職員

問 市長が特に必要と認める会計年度任用職員の職種は。

答 市内小中学校の非常勤講師・スクールカウンセラーを対象としている。

問 改正案条例第31条を追加する目的は。

答 同一の勤務内容である職種について、給与の均衡を図るため。

問 その給与については、新たに給料表を作成するのか。

答 要綱を作成し、県に準じた報酬額及び支給基準を定める。

（3/9 総務産業委員会）



議案 No.7

国民健康保険条例の一部改正

問 1世帯当たり、どれくらいの負担増となるのか。

答 1世帯当たり平均で年間2万円程度の増額となる。

問 低所得者層への対応は。

答 規則の改正により、市の独自減免を拡大する予定で、法定軽減の対象となる低所得者層の負担軽減を図る。

（3/9 文教厚生委員会）

議案 No.9

農地保有合理化基金の廃止

問 農地保有合理化基金廃止後の1億円取り扱いは。

答 基金廃止後は、一般会計の歳入として会計処理される。

問 農地中間管理事業と農地利用集積円滑化事業の統合部分は。

答 農地利用集積円滑化事業が廃止され、農地中間管理事業に統合一本化されることで、担い手への農地の集積を強化する。

問 農地保有合理化基金を残し、用地買収で残地となる農地の購入に用いることは。

答 農地保有合理化基金を残し、用地買収で残地となる農地の購入に用いることは。

答 農地中間管理機構に一本化されるので、市による農地売買の取り扱いはできない。

(3/9 総務産業委員会)

議案 No.10

放課後児童支援員の基準

問 経過措置の期限を定めず「当分の間」とした理由は。

答 全ての児童クラブに研修修了者を均等に配置できない場合が考えられるため。

問 支援員認定資格研修の未受講者に対する支援策は。

答 研修の材料費や交通費の支給及び研修時間を勤務扱いとしている。

(3/9 文教厚生委員会)

議案 No.11

子どもの入院に係る医療費の助成

問 高校生等への医療費支給を入院費のみとした理由は。

答 入院にかかる医療費は通院と比べ高額であり、経済的負担の軽減を図るため。

問 支給を償還払いとした理由は。
答 申請者数を年間約80件と見込んでおり、費用対効果を考慮した。

(3/9 文教厚生委員会)

議案 No.13

市営住宅の債権等の改正

問 市営住宅の金銭徴収額の算定方法は。

答 毎月の家賃に支払期後、納期の翌日を適用日として、その時点の利率により利息を付す。

問 この条文からでは、算定方法が読み取りにくいと思うが。

答 条例によらないところは、民法が適用されるが、条例施行前に生じた債権は「法定利率」となる。

(3/9 総務産業委員会)

議案 No.17

公共下水道田原浄化センター改築工事の協定金額変更

問 協定金額変更の内容は。

答 汚泥量が少なかったため、汚泥の抜き取りに要する仮設費及び汚泥処理費、電気工事等の積算単価の見直し及び精査により減額となった。

問 当初協定金額より2割以上の減額であるが、積算方法は適切であったのか。

答 稼働中の施設は目視による確認ができない場所が多いため、数量を

想定して設計を行い、工事の過程で精査、設計の変更を行っている。

(3/9 文教厚生委員会)

令和2年度予算審査

議案 No.25 一般会計

高齢者の安全運転を支援

問 高齢者安全運転支援装置設置促進補助金の利用見込みは。

答 障害物検知機能があるものとないたもの各120台で、計240台分。

問 後づけ緊急抑制装置装着の対象は。

答 車検証記載の利用者が65歳以上で、かつ自家用に限る。

問 地元のモーターズでも装着可能か。

答 認定製品の取扱店となれば取り扱えるので、取扱店を増やしていきたい。

ふるさと納税を推進

問 ふるさと応援寄附金の歳入見込み1億円の根拠は。

答 令和元年度の実績を基に1億円を計上したが、より多くの寄附を集めることを目標としている。

問 新たな返礼品はあるか。

答 アサリ、アオサ、ジェラート等がエントリーしている。

問 もうかるめどは立っているか。

答 全国から寄附を集めることができずる事業であり、財源確保とシティセールスという二つの意味がある。

問 新たな6次産業品目も必要では。

答 地場産品も6次産業品も当然必要。今から進めていきたい。

各種証明書のコンビニ交付

問 各種証明書のコンビニ交付事業の利用見込みは。

答 年間600件程度を想定している。

問 コンビニ交付サービスに必要なマインバーカード普及の方策は。

答 申請用顔写真の無料撮影、時間外窓口でのカード交付等を予定している。マイナポイント取得、健康保険証利用等の利点やカードの安全性を周知していく。



たはら企業フェアを開催

- 問** 市内中高生対象の「たはら企業フェア」に期待する効果は。
- 答** 将来の人口流出の抑制効果を期待。
- 問** フェア参加募集の方法は。
- 答** 市のホームページや広報紙に加え、学校を通じて生徒へのチラシ配布等により周知していく。

中小企業者を支援

- 問** 中小企業者総合支援事業の対象と手法は。
- 答** 創業や6次産業化、着地型観光に携わる1次産業者や観光事業者等が対象。専門アドバイザー等による伴走型支援やセミナー、合同就職説明会等を考えている。
- 問** 田原ブランド認定審査委員の選考に、販売成果の基準はあるか。
- 答** 成果の基準はない。
- 問** 成果を求める姿勢が市に必要では。
- 答** 成果は生産事業者が求めればよい。数字はない。PR等で支援していく。



観光団体活動を支援

- 問** 渥美半島観光ビューローに対する補助金増額の理由は。
- 答** GOGO三河湾推進協議会の事務局となり、人件費一人分と地域ブランドディング戦略策定等の経費の増額をするため。
- 問** 観光ビューロー自立支援の方策は。
- 答** 法人化を見据えて戦略を策定し、収益事業の検討で自主財源の確保を図り、自立へ繋げていきたい。(以上3/10予算決算委員会)

生活困窮者自立を支援

- 問** 生活困窮者の把握方法は。
- 答** 相談窓口を各福祉センター内に設置。窓口に来られない方については福祉関連事業所からの情報提供により把握している。

子どもの入院費助成スタート

- 問** 入院費の申請から受領までは。
- 答** 申請の時期によっては3カ月ほどかかる。
- 問** 月ごとに申請するものか。
- 答** 高額療養費は、月ごとに計算されるので、月ごとでも数カ月まとめてでも申請は可能。

高齢者の外出を支援

- 問** バス電車券助成の見直し内容は。
- 答** 「利用実績に応じた支払い」に変更する。
- 問** 使用方法の変更内容は。
- 答** バスは回数券購入時に使える助成券を、電車は切符購入時に使える助成券を交付する。

移動式水洗トイレ

- 問** ベッドのそばに置ける移動式水洗トイレは、介護負担軽減に優れ、介護保険の特定福祉用具の給付対象だが、設置費用も独自助成できないか。
- 答** 利便性やニーズの高いものについては、助成の必要性を今後も研究していきたい。

敬老祝い金を見直し

- 問** 88歳の敬老祝い金廃止の理由は。
- 答** 平均寿命が延び、長寿のお祝いという趣旨からずれてきたため、対象年齢の見直しを行った。
- 問** 100歳には国からもお祝いがある。88歳をいきなり廃止ではなく、代替案はなかったのか。
- 答** 高齢者人口の増加、高齢者福祉予算など総合的に考え廃止した。

医療的ケア児の受入体制

- 問** 今後さまざまな症例の医療的ケア児を受け入れる体制が必要では。
- 答** それぞれの医療的ケア児に応じ、適切な人員配置をし、必要な対応をしていきたい。

骨髄バンクドナーに助成

- 問** 骨髄バンクドナー助成金の内容は。
- 答** ドナー休業に経済的支援をし、骨髄提供しやすい環境をつくるもの。提供者には、骨髄採取の通院や入院日数に応じ、7日間を限度に1日2万円の助成。提供者が勤務する事業所には、1日1万円の助成がある。

風疹抗体検査を勧奨

- 問** 風疹抗体検査の実施者が当初予定の2割弱と少ない原因は。
- 答** 国の通知を待ち、クーポン券を送したため、職場での健診に間に合わず、見合わせたと考える。来年度の実施率向上への対応は。令和2年3月末に2年分の対象者にクーポン券を発送し、職場健診と同時に検査ができるよう案内する。

炭生館の延命

- 問** 炭生館の運転管理業務の内容は。
- 答** ごみ処理広域化が始まる令和6年度までの繋ぎとして、施設の運転、維持管理を委託するもの。
- 問** 減価償却により処理コストが高いと聞いていたが、PFI事業が終わっても予算額が変わらない理由は。
- 答** 15年間使った施設であり、さらに5年間使うためには修繕しないと使えない。機能回復修繕と定期修繕が必要なため。
- 問** ごみ処理の負担を正当化できるように、他市町村並みにコストを下げる事ができないか。
- 答** ごみ処理広域化により、焼却処理費は豊橋市と同じ単価にはなる。

新規就農者を誘致

- 問** 新規就農者誘致のPR方法は。
- 答** 農地の面積要件の緩和について、新規就農相談や移住希望者の誘致活動の際などでPRしていく。
- 問** 人口増企画室との連携は。
- 答** すでに連携している。引き続き連携の充実強化を図っていく。

サンテパルクたはらの管理運営

- 問** サンテパルクの施設は、老朽化が進んでいると思うが、安全対策は。
- 答** 緊急修繕以外は優先順位をつけ、計画的に修繕を行っている。日常点検をしっかりと行い安全対策を図る。
- 問** 来園者の満足度向上に対する考えは。
- 答** 体験教室や観賞用花壇の管理等をしっかりと行い、イベントについても充実したものにしていきたい。

(以上3/11予算決算委員会)

(仮称)渥美半島道路計画検討

- 問** (仮称) 渥美半島道路計画検討の内容は。
- 答** 新たに自動車専用道路等の実現のための路線として、「(仮称) 渥美半島道路」の名称で計画化に向けた検討を進めるもの。
- 問** 計画検討を委託で行う理由は。
- 答** 交通需要、安全性、経済性、施工性、沿道環境等、確かな知見からの検討が必要なため。
- 問** 期待する効果は。
- 答** 広域道路計画の見直しの検討を県に促すための要望資料等に活用していきたい。

日本風景街道大学を開催

- 問** 日本風景街道大学田原キャンパスの来場者の見込みは。
- 答** 200人から250人の参加を想定。
- 問** 大学開催による波及効果は。
- 答** 参加者に渥美半島菜の花浪漫街道をPRしてブランド化を図り、新たな事業の担い手を期待する。

津波避難タワーを新設

- 問** 小中山地区の津波避難施設整備の詳細は。
- 答** 3箇所の津波避難タワー新設と小中山総合会館屋外スロープ設置等を行う。
- 問** 小中山保育園の立体駐車場は、津波避難施設として利用するのか。
- 答** 利用する。全5箇所の施設で、小中山地区の全員が避難できる。

学校のプールのあり方を検討

- 問** 学校のプールのあり方の検討内容は。
- 答** 授業の内容や時間などの確認、合同授業の実施、児童生徒と教職員の間、授業方法に対する意見集約などを行い検討するもの。
- 問** 移動を含めた授業時間の想定は。
- 答** 授業時間は2時限を1単位で考えている。

雑誌スポンサー制度スタート

- 問** 雑誌スポンサー制度とは。
- 答** 図書館の閲覧・貸出の雑誌について、市内の民間企業などから購入費の提供を受ける制度。資料の充実と資料費の節約を図るもの。
- 問** スポンサーのメリットは。
- 答** スポンサーとなった雑誌のカバーや棚に広告を掲載し、宣伝できる。

(以上3/12予算決算委員会)

議案 No.28 後期高齢者医療特別会計 後期高齢者医療保険料の徴収

- 問** 収納金額が増加するようだが、収納率向上の見込みは。
- 答** コンビニ収納開始により、納付場所・時間の拡大となるので、収納率向上に繋がるよう勧奨していく。
- 問** コンビニ収納は、市が独自に行うものか。
- 答** 独自で行うものだが、東三河の近隣市では既に導入している。
- 問** コンビニ収納の開始時期は。
- 答** 令和2年12月から予定している。

(3/16予算決算委員会)

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

代表質問

「渥美半島を元気に!!」する予算の内容は

温泉資源活用の準備やサイクルツーリズムの推進を行うとともに「(仮称)渥美半島道路」の早期実現に向け、国・県に要望していく



自由民主党田原市議団
中神 靖典

令和2年度施政方針について

問 新年度予算の考え方は。

答 産業分野では、農業基盤の整備を進めるとともに、農地取得の下限面積の緩和による新たな担い手の確保、商業分野では、総合的な支援窓口の設置など、産業全体の底上げと裾野の拡大を図る。観光業では、渥美半島の資源を生かした観光戦略に取り組み、経済効果を伴う交流人口の拡大を図る。子育て・教育分野では、「病後児保育室」の開設や児童発達支援センター開設の準備、18歳までの入院医療費の助成など、子育てにやさしい環境づくりを一層充実していく。

問 財源確保の考え方と取り組みは。

答 財政調整基金をはじめとする各種基金の活用、有利な市債の借り入れ、国・県補助事業の優先実施により財源確保を行う。また、温泉掘削による入湯税の増収、基金を効果的に運用するための債券運用、ふるさと納税の充実や企業版ふるさと納税の活用のほか、受益者負担の適正化等、新たな財源確保策に対し、積極的な展開を図る。

問 「渥美半島を元気に!!」する予算の内容は。

答 着地型体験プログラムのより一層の充実を図るとともに、観光地としての魅力向上のための温泉資源について、令和4年度からの活用に向け、準備を進める。また、太平洋岸自転車道のナショナルサイクルルート選定に向け、サイクルツーリズムを推進するとともに、「日本風景街道大学菜の花田原キャンパス」を契機に、道路環境の整備につなげていきたい。大幅な時間短縮と高い定時性のある道路「(仮称)渥美半島道路」の早期実現に向けて、国や県に強く要望していく。本市の強みである豊かな自然や産業を生かし、交流人口の拡大を図るとともに、この地域を愛し、誇りに思えるようなまちづくりを目指していきたい。

代表質問

資金調達に戦略的に取り組む考えは

ふるさと納税の充実や債券運用の検討など、さまざまな資金調達の手法について検討を進める



市民クラブ
平松 昭徳

令和2年度施政方針について

問 安定的な財政運営をしていくため、事業資金調達等に戦略的に取り組む考えは。

答 ふるさと納税の充実や企業版ふるさと納税、クラウドファンディングへの取り組み、債券運用の検討など、さまざまな資金調達の手法について検討を進める。

問 定住・移住希望者を受け入れるための基盤整備は。

答 宅地開発や空き家活用などによる住宅取得の支援や働く場を確保するため地域産業の基盤整備や創業支援を進める。

問 学校プールのあり方についての検討の進め方は。

答 水泳授業の充実や児童・生徒の安全確保、公共施設の適正化、教員の負担軽減など、さまざまな視点から学校プールの集約化に向けた検証を行う。また、方策の一つとして、市民プール建設に関するPFI事業（※）等の導入可能性について調査していく。

問 防災・減災に対する取り組みをどのように推進していくのか。

答 「自然災害からの犠牲者ゼロ」を目標に、自主防災会の機能強化を進める。また、小中山地区での津波避難施設の整備や県と連携した堀切海岸への防潮堤整備など、津波対策をしっかりと進めていく。

問 「田原市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画の推進方法は。

答 施設の合理的な運用に向けた調整を図り、維持・更新費の平準化や施設の複合化・廃止について、市民や関係者に情報提供を行いながら、検討を進めていく。

※PFI事業

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法



一般質問

- P 10 自由民主党田原市議団 中神靖典 令和2年度施政方針について
- P 11 市民クラブ 平松昭徳 令和2年度施政方針について
- P 12 仲谷 政弘 農産物の輸出拡大に向けた取り組みについて
- P 13 村上 誠 学校給食と田原市給食センターについて
- P 12 長神 隆士 田原市博物館の今後の運営について
- P 14 内藤喜久枝 高齢者がいきいきと暮らせる田原市の実現について
田原福祉専門学校の民営化と今後の展望について
- P 15 辻 史子 身体障害のある方や乳幼児連れの方に配慮した公共施設のトイレについて
祖父母による孫育てサポートについて、認知症施策の推進について
- P 14 廣中 清介 田原市の受動喫煙防止への取り組みについて
- P 16 岡本 禎稔 田原市の水道の基盤強化について
- P 17 古川 美栄 渥美支所の果たすべき役割と課題について
- P 16 鈴木 和基 大規模災害発生時の対応方針について
- P 18 岡本 重明 田原市のまちづくりについて
- P 19 小川 貴夫 田原市の部活動のあり方について

GAP 認証制度の取り組みは

お茶で1件、施設園芸で2件、渥美農業高等学校がミニトマトでグローバルGAPを取得



仲谷 政弘
自由民主党田原市議団

農産物の輸出拡大に向けた取り組みについて

問 これまで取り組んできた農産物輸出事業の成果と課題は。

答 成果として、香港・マレーシアでは、フェア出展やバイヤー招聘等を通じ、現地の流通事業者からフェア期間以外にも直接問い合わせがある。また、香港のフラワーショーでは、高い評価を受け、今後の輸出拡大に期待している。
課題として、輸出を行うJAや農家、食品事業者など幅広い事業者が輸出に関心を持ち、主体的に取り組んでもらう必要がある。

問 直近の輸出実績の品目別数量は。

答 本年度の令和元年12月末時点で、マレーシアにアールスメロン、タカミ、イエローキングのメロン類720kg、豊橋市と合わせて香港にミニトマト574kg、スナップエンドウ14kgを輸出。近年では、バイヤーからの個別の引き合いで香港に1年当たりアールスメロン約300ケースを輸出している。

問 GAP（※）認証制度の取り組みは。

答 お茶でグローバルGAP1件、施設園芸でASIA GAP・JGAP各1件、また事業者ではないが渥美農業高等学校がミニトマトでグローバルGAPを取得した。この他、愛知県GAPに2件申請している。

問 HACCP（食品の安全性を確保する衛生管理の手法）の導入状況は。

答 愛知県HACCP導入施設に伊良湖ビューホテル、フタムラ化学(株)田原開発センターの2件が認定されている。

問 令和3年6月までに、原則すべての食品事業者に対しHACCPに沿った衛生管理が義務化されるが、HACCPの導入促進に向けた市の取り組みは。

答 認証取得や施設改修等の相談があった際には、国の支援制度の活用に関する情報提供を適切に行う。

※GAP（Good Agricultural Practice）

農業における持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み

田原市博物館の今後の運営について

問 博物館の現状と課題は。

答 年2〜3回の特別展・企画展と平常展の展覧会を開催しているが、利用者数は伸び悩んでいる。郷土の歴史及び文化を伝えていくために、いかにして利用者を増やしていくのが課題である。

問 博物館利用者が伸び悩んでいる現状をどう捉えているか。

答 博物館の利用者の伸び悩みは、全国的な傾向だが、施設の老朽化や開館以来常設展示の内容が変わっていないことも要因の一つと考える。

問 市内の方に何度も足を運んでいただく対策は。

答 渡辺華山の常設展示の大きな見直しは考えていないが、企画展示室の一つを期間ごとに郷土の歴史や文化を紹介する展示に変える計画をしている。



長神 隆士
自由民主党田原市議団

交流人口増加につながる 今後の博物館の運営は

さまざまな機関等と連携し魅力を高め
ていく

給食について、子どもたちの評価は

アンケート結果では、「大好き」「好き」が約7割と好評価を得ている



村上 誠

自由民主党田原市議員

学校給食と田原市給食センターについて

問 給食の内容の質や量について、子どもたちの評価は。

答 アンケート結果では、「大好き」「好き」と答えた子が約7割とおおむね好評価を得ている。

問 給食の残食は、量の指標になるが、どんな状況か。

答 毎日、クラスごと、おかずごとに集計している。平成30年度の県の平均残食率が4.9%であるのに対し、この3年間では1.2~1.3%である。

問 給食を通して、子どもたちに食材の知識を伝えていくことも大切と考えるが、先生との連携は。

答 子どもたちの給食の様子や感想を記入した連絡ノートで学校の給食主任と情報交換を行っている。



問 田原産の食材使用状況は。

答 食材使用率は約13%、使用量では約50%。

問 地域の農家からの直接購入は地産地消につながると考えるが、市の取り組みは。

答 地域の農家の会と情報交換し、旬の野菜など取り扱ひ量の増加に取り組んでいる。また、地元産の取り扱ひが増えるようにJ A愛知みなみや青果納入組合と検討している。

問 民間のノウハウを活用したPFI事業の成果は。

答 施設修繕への迅速な対応やバイキング給食やアレルギー対応など直営では実現が難しい給食を提供できている。

問 給食センター開始当初より給食数が減少しているが、調理器具などに無駄が生じていないか。

答 給食の調理は、決められた時間に行うため、調理器具の組み合わせや流れを考えながら有効に使用している。

問

交流人口増加につながる今後の博物館の運営は。関心が高い展示会を開催するだけではなく、さまざまな機関等と連携し魅力を高めていく。また、市内のイベントや他の施設、歴史、自然をつないだ情報を発信することで交流人口増加を担う。

【会派の構成変更】

2月1日付で「自由民主党田原市議員団」に異動しました。

仲谷政弘議員、長神隆士議員

鈴木和基議員、内藤浩議員



介護予防教室の開催場所や内容が、 一目でわかるマップを作成する考えは

より多くの高齢者に介護予防に取り組んでもらえるよう、
マップの作成も含め検討していく



内藤 喜久枝
かがやき

高齢者がいきいきと暮らせる田原市の 実現について

- 問** 運動機能の衰えによるフレイル（※）対策として開催している体操教室の状況は。
- 答** 現在、市内27か所で体操教室を開催し、60～100歳の約450人が参加している。
- 問** どこで、どんな教室をやっているのか、一目でわかる市内のマップを改めて作成する考えは。
- 答** より多くの高齢者に介護予防に取り組んでもらえるよう、マップの作成も含め検討していく。
- 問** 要介護状態になる可能性の高い高齢者を把握するための基本チェックリストを送付する対象年代を拡大する考えは。
- 答** チェックリストの対象者の拡大を検討し、介護予防活動の充実につなげる。

※フレイル（虚弱）
加齢により心身が古い衰えた状態。

田原福祉専門学校の民営化と今後の展望について

- 問** 民営化に向けた福寿園独自の事業内容は。
- 答** 地域貢献の一つとして、学食（カフェ）の建設を予定している。高校生とのカフェメニューのコラボや地域の方々がカフェに集い、学校との相互活用が図られる可能性にも期待が持てる。
- 問** 民営化後の市の人的な支援は。
- 答** これまでの学校運営の一貫性が保たれ、安定した教育の提供が可能となるよう一定期間人的支援を行う。派遣する教員等を段階的に減らしていくかなど、時期を決めて協議する。
- 問** 市からの補助金についての考えは。
- 答** 3年を目安とし、見直しを図る。また、補助金の内容としては、運営に対するものや特待生のような入学学生に対するものなど考えられる。

田原市の受動喫煙防止への取り組みについて

公共施設における受動喫煙防止対策推進会議の成果は
敷地内禁煙施設の増加、屋外喫煙場所の減少や移設が進んだ



廣中 清介
無派不撓クラブ

- 問** 公共施設における受動喫煙防止対策推進会議を進めたことで、現場での対策は進んだか。
- 答** 敷地内禁煙に変更した公共施設の増加、屋内禁煙の徹底、屋外喫煙場所の減少や移設が進んだ。
- 問** 市民館や公園の受動喫煙防止対策はどうか。
- 答** 特定屋外喫煙場所を設けず敷地内完全禁煙とした市民館が4館に増加した。公園では看板による周知で敷地内禁煙が進んでいる。
- 問** 健康マイレージは、今現在も禁煙推進のために活用されているか。
- 答** 30日以上禁煙を、健康マイレージの健康づくりの目標にすることができる。

祖父母の孫育てサポートとして「祖父母手帳」を作成する考えは

効果や必要性について、研究していく



辻 史子

公明党田原市議団

祖父母による孫育てサポートについて

問 子育て講座等に参加しなくても情報が得られるよう、電子情報として発信できないか。

答 ホームページやインスタグラムなどのSNSを通して子育て情報の発信に努める。

問 祖父母の孫育てサポートとして、先進自治体では「祖父母手帳」や「孫育て手帳」を作成し、配布しているが、市で作成する考えは。

答 効果や必要性について、今後、研究していく。

認知症施策の推進について

問 認知症初期集中支援チーム（※）の活動状況は。

答 認知症が疑われるが病院にかかっていないケースなどの相談や家庭訪問などの支援を行っている。また、最近では若年性認知症に関する相談が増えており、高齢者支援センターと連携するなどの対応をしている。

身体障害のある方や乳幼児連れの方に配慮した公共施設のトイレについて

問 イベントを行う集客施設には、介助者も安心できる大人用のおむつ交換台が必要では。

答 改修工事や新設する施設があれば施設の目的に応じて設置を検討する。

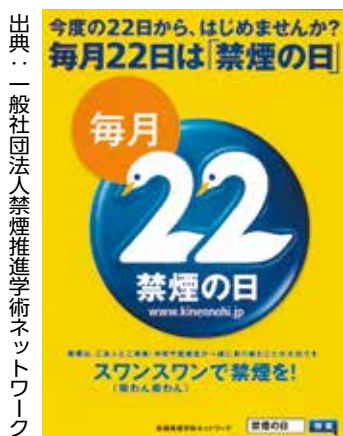
問 育児を行う男性への支援と子育て世代の応援のために、男性用トイレに子ども用おむつ交換台の設置を増やす考えは。

答 施設の利用状況等を把握しながら、必要性を考慮して検討する。



※認知症初期集中支援チーム

医師・看護師・保健師・社会福祉士などの専門職で構成された、市が設置する認知症専門チーム。



出典：一般社団法人禁煙推進学術ネットワーク

答 使用禁止は考えていないが、その内容を掲示して禁煙を啓発していきたい。

問 廃止できないまでも、5月31日の「世界禁煙デー」と毎月22日の「禁煙の日」ぐらいは使用禁止にしてみてもどうか。

答 指針に沿って設置しているため、廃止は考えていない。

問 受動喫煙防止対策指針の基本方針は、敷地内禁煙を目指すことである。自治体が率先して見本を示そうというのであれば、市役所本庁舎の特定屋外喫煙場所を廃止してどうか。

答 勤務態度不良の職員は、処分の対象となる。改善が認められない場合は、処分もあり得る。

問 市職員の勤務時間内喫煙禁止は、おむね守られているとのことだが、昨年、大阪府では勤務時間中に喫煙していた職員が処分された。自治体は市民の見本として、このような厳しい態度で臨まなければならないと思うがどうか。

答 禁煙の日を周知し、啓発に活用していく。

問 「一般社団法人禁煙推進学術ネットワーク」が、毎月22日を「禁煙の日」として登録しているが、市民の禁煙のために活用してみてもどうか。

水道事業でのコンセッション方式導入の考えは

安心・安全な水を安価に安定的に供給するため、直営で運営していく



岡本 禎稔
自由民主党田原市議団

田原市の水道の基盤強化について

- 問** 「田原市水道事業経営戦略」では、2030年までに基幹管路耐震管率を50%とすることを目標としている。今年度末には耐震管率約23%となるが、今後の目標達成の方策は。
- 答** 重要給水拠点を結ぶ管路や漏水等の事故の多い管路等を優先しながら、国庫補助金等の財源確保に努めて、計画的に整備を行う。
- 問** 内部留保資金が当初の予測より前倒しでなくなる可能性がある。水道料金改定の時期を早める必要があるのでは。
- 答** 料金改定は、市民生活に影響を与えることになる。有収率の向上や運営経費の抑制のための経営努力を行い、今後、慎重に検討を進めていく。

- 問** 水道事業の広域化に対する考えは。
- 答** 広域化は、効率化などの点でメリットが多く、前向きに考えているが、広域連携の範囲や内容、県及び関係市町村との十分な協議が必要と考える。
- 問** 改正水道法では、官民連携の推進が法制化され、コンセッション方式（公共施設等運営権を民間事業者に設定できる方式）が導入されたが、市の考えは。
- 答** 安心・安全な水を安価に安定的に供給することが使命と捉えているので、直営で運営していく。



災害発生時のごみ処理対応は

「田原市災害廃棄物処理計画」に基づき行動する



鈴木 和基
自由民主党田原市議団

大規模災害発生時の対応方針について

- 問** 南海トラフ地震臨時情報における事前避難対象地域とは。
- 答** 主に太平洋岸を中心とした海岸付近を想定。
- 問** 南海トラフ地震臨時情報への本格的な対応策の検討は、県の指針が示されてからということだが、それまでの間に発表された場合の対応は。
- 答** コミュニティ協議会、自主防災会を通じて、逃げ遅れが心配される地域に避難を呼びかけていく。
- 問** 大規模災害が発生した場合、ごみ処理体制に大きな支障が生じると想定されるが、その対応策は。
- 答** 災害時に起こりうる事態を想定し「田原市災害廃棄物処理計画」を策定した。災害廃棄物をスムーズな処理が行えるよう、関係機関との連携など協力支援体制を整え、被災状況の調査などの行動計画を定めている。

ダムカードを契機に初立池公園で新たなイベントを開催する考えは

関係部署や地元コミュニティ協議会とも連携を図り、事業の開催を検討する



古川 美栄
自由民主党田原市議員

渥美支所の果たすべき役割と課題について

- 問** 渥美支所は、渥美地域の行政サービスの拠点として、現在の体制を維持していくのか。
- 答** 渥美地域の住民にとって身近で住民サービスが受けられること、道路・河川などの維持管理も早急に対応できることなど、今後も社会動向の変化や住民ニーズに対応しながら、渥美地域の総合窓口としての役割をしっかりと果たしていきたい。
- 問** 道路・河川の修繕依頼も多く寄せられると思うが、どのように優先順位をつけているのか。
- 答** 必要な箇所をコミュニティ協議会長、自治会長等と現場確認などを行い、優先順位を決定し、実施している。
- 問** 初立池公園や渥美の森、西ノ浜海浜公園等で老朽化した遊具や施設の代替施設を建築する考えは。
- 答** 地元住民や利用者の要望が強く、利用頻度が多く見込まれる場合には、市内施設との調整を図り、遊具等の設置を検討していきたい。

- 問** 好評の初立池のダムカードを契機に初立池公園でイベントを開催し、渥美地域の活性化につなげる考えは。
- 答** 新たなイベントについては、関係部署や地元コミュニティ協議会とも連携を図り、多くの方が訪れるような事業の開催を検討する。
- 問** 渥美支所の権限を強化し、防災拠点として、渥美地域内での災害対応が迅速に行える体制をつくる考えは。
- 答** 災害対策本部での一元的な管理が必要と考える。災害対応にあたっては、自主防災会と連携を取りながら、迅速な災害対応を図る。



お知らせ information

令和2年第2回定例会（6月議会）会期

6月8日(月)～22日(月)

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
7	8 本会議 (議案審議)	9	10 本会議 (一般質問)	11	12	13
14	15 文教厚生委員会 総務産業委員会	16 予算決算委員会	17	18 議会運営委員会 ・同協議会	19	20
21	22 本会議 (採決等)	23	24	25	26	27

10:00 開会
(15日 総務産業委員会…13:30開会)
日程及び時間は、変更になる場合があります。

- 問** 交通機能のまひ、運搬車両の被災も想定されるが、どのように対応するのか。
- 答** 田原市災害対策本部から通行可能な道路の情報を得るとともに、運搬車両は災害協定に基づき他市町村や民間事業者に応援を要請する。
- 問** 炭生館などの廃棄物処理施設の耐震対策等の備えは。
- 答** 各施設は、新耐震基準を満たしており、かつ津波災害警戒区域外に立地している。また、発電機を配置し、燃料薬剤などの備蓄に努めている。
- 問** 「田原市災害廃棄物処理計画」では、仮置き場の必要面積は386平方キロメートルだが、確保の見通しは。
- 答** 廃棄物処理施設や公園など公共用地で確保ができる見通しである。

童浦地域からの臨海工業地企業受け入れの条件を忘れていたのか



岡本 重明
みんなの党田原市議員

しっかり引き継いでいる

田原市のまちづくりについて

- 問** 童浦小学校付近の通学路の交通安全対策は。
- 答** 童浦小学校西交差点付近から童浦郵便局交差点までの通学路危険対策として、まずは車両防護柵の設置検討などを愛知県に申し入れ、今後の取り組みなど協議を進めている。
- 問** 昭和49年の童浦地域からの臨海工業地企業受け入れの条件が存在していたことを忘れていたのか。
- 答** 地域と交わした道路整備交通安全対策は、しっかり引き継いでいる。
- 問** 公共交通として、多くの市民が安価な費用でチャレンジし、出店できる売り場をつくり、そこをバス停にし、豊橋市から直行で田原市に入り伊良湖までバスでつなげ、売り上げに応じて出店者が支払う販売手数料等の収益で運行を賄っていくシステム、そういう集客目的での新たな発想の交通網整備を検討する考えは。
- 答** 市民の移動手段を十分確保でき、今よりもっと効果的な取り組みであれば、検討することも必要と考える。

- 問** セントファーレ商業施設を指定管理している(株)あつまるタウン田原は、ララグラン開発にも参入し、市民館同様の税の扱いで、維持管理費を市が負担する優遇の扱いに関して、一般の商業者から納付できないと聞く。この待遇について、市の考えは。
- 答** 市民館は行政財産であることから課税されていない。セントファーレの建物は、市と(株)あつまるタウン田原が区分所有しており、同社所有分の固定資産税は課税され、維持管理費は区分所有の面積の割合に応じて、それぞれが負担している。なお、事業内容の公益性も高いことから一部固定資産税は減免している。
- 問** (株)あつまるタウン田原は、地場産業振興による税収アップに向けてモデルになる会社と考えるが、この待遇は本当にいいのか。
- 答** (株)あつまるタウン田原は、まちづくりをする会社であり、そこで発生する利益も次の投資に充てるという目的になっている。その流れの中で公益性もある。中心市街地が活性化することが、税収アップに繋がると考える。

1月30日
市政広聴会(CAEA渥美半島環境活動協議会)



CAEA渥美半島環境活動協議会6名の方から、ご意見などをお聴かせいただきました。

2月6日
市政広聴会(ひまわりミーティング会)



ひまわりミーティング会8名の方から、ご意見などをお聴かせいただきました。

1月28日
市政広聴会(伊良湖岬観光協議会)



伊良湖岬観光協議会2名の方から、ご意見などをお聴かせいただきました。

2月5日
議員全体研修(SIM実施研修)



対話型自治体経営シミュレーションゲーム「SIM」で行政側の立場から政策判断を経験する研修を議員全員が受講しました。

1月24日
鳥羽市議会・田原市議会議員交流会



鳥羽市議会議員13名が田原市を訪問。田原市訪問型アウトリーチ家庭教育支援事業について合同研修を行いました。

2月4日
市政広聴会(田原市地域コミュニティ連合会)



田原市地域コミュニティ連合会19名の方から、ご意見などをお聴かせいただきました。

議会の活動

スポーツクラブとの連携や人材バンクシステム等の導入で子どもたちをサポートする考えは

スポーツや文化活動など、子どもたちにとって、より良い環境を整備していく



小川 貴夫
自由クラブ

田原市の部活動のあり方について

問 「田原市部活動ガイドライン（案）」において、県のガイドラインと異なっている部分は。

答 活動日について、県では小学校は週4日以内だが週3日以内とした。中学校は、県と同じく週5日以内となっている。

問 市のガイドラインにある部活動指導員が、監督や顧問を務めることができるようにする考えは。

答 制度上可能です。各学校の実情に応じて適切に役割分担を決めていただく。

問 部活動の希望制導入についての考えは。

答 希望制のような大きな見直しは、より慎重な協議と検討が必要である。

問 今後、立ち上げる部活動検討委員会の協議体制は。

答 学校関係者以外からPTAやコミュニティ関係者等にも参加をお願いしていきたい。協議内容は、令和2年度末に取りまとめ、部活動の適切な見直しを説明できるようにする。

問 部活動以外に中学生が取り組むための社会スポーツの課題は。

答 子どもや団体それぞれのニーズに合った指導のあり方や人材の確保と考える。

問 スポーツクラブとの連携や人材バンクシステム等の導入などにより部活動や放課後の子どもたちをサポートする考えは。

答 各種団体との連携や人材バンクシステムなど、子どもたちにとって、スポーツや文化活動などを行うための良い環境が整うよう検討する。



議員とたはらトーク

令和2年4月から、これまでの議会報告会・意見交換会・市政広聴会を総称して新たに「議員とたはらトーク」としました。皆さんからのご意見、ご提案などを市政に反映する議会の窓口です。お気軽にどうぞ！詳しくは、田原市議会HPをご覧ください。田原市議会HP > 市議会の活動 > 議員とたはらトーク

一般対象【申込不要】

会場：市民館や公共施設

内容：議会報告・意見交換

※開催予定は、決まり次第お知らせします。

団体対象【申込制】

対象：5名以上で共通の活動をしている市民及び団体

日時：平日（月曜日～金曜日）

午前9時～午後5時までの希望する時間

会場：団体の希望施設

※市役所以外をご希望の場合は、手配をお願いします。



インタビュー

Vol.25
「龍宮」の皆さん

— 設立のきっかけは。

地域の青年団の消滅と共になくなった各地区の盆踊りを復活させようと、まちづくり団体「あかばね塾」が取り組みを始めました。東栄町に拠点を持つプロの太鼓集団「志多ら」に教えを請い、平成10年あかばね塾のメンバーを中心に10人ほどで発足したのが「龍宮」です。

— 活動状況を教えてください。

赤羽根夏祭りや各校区市民館祭り、秋祭りなどに参加して演奏しています。小中学校や保育所にお邪魔して、子どもたちが簡単な楽曲を演奏できるように指導もしています。

— 大変なこと、活動していて良かったことは。

和太鼓は複数人で音を奏で、まるで一人がたたいているかのごとく複雑な抑揚とリズムを刻み、観客と演奏者が音で一体となる時、お互いに感動を覚えます。演奏本番まで音を合わせる機会のないこともしばしばですが、演奏先で大勢の人と触れ合い、お声をかけていただける事が何より嬉しいです。



— 地域での広がりは。

各地で演奏会を行うことで和太鼓に興味を持ってもらい、地元をはじめ、各地区からメンバーが集まるようになりました。学校で指導をした子どもたちが、地域の祭りや盆踊りで太鼓や笛の演奏で活躍している姿を見るのも嬉しいものです。

— 今後の目標は。

地域のお祭りやイベントに参加させていただきながら地元の活性化に貢献していきたいです。小中学校の和楽器体験として和太鼓の演奏指導も継続できたら嬉しいです。和太鼓は、チョットした練習で誰でも演奏できる楽器ですので、皆様のご参加を心より歓迎いたします。

(聞き手：辻史子) 令和2年3月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447



社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】 田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。